

☆☆住まいまちづくり相談☆☆

住まいまちづくりのことは「NPO法人横浜市まちづくりセンター」へご相談ください。ご相談内容に応じて、各種専門家（専門部会員）がアドバイザーとして対応いたします。さらに支援の依頼にはコーディネーターやコンサルタントの派遣も致します。また業務の依頼に対しては、事業者をご紹介します。

- ◆新築・増築・改築・リフォーム
高齢者・障害者住宅のバリアフリーの設計監理・施工、マンションの設計・監理（大規模修繕等）・施工
- ◆耐震診断・耐震改修
住宅・ビル・マンション等の耐震設計・監理・施工
- ◆みんなのまちづくり
住宅地・商店街・景観づくり・ルールプランなど、地域で気になっていることをお気軽にご相談ください。
- ◆空き家対策・中古住宅利活用
空き家問題、中古住宅の有効利用について各種専門家がワンストップでご相談に応じます。

住まいまちづくり相談窓口

下記、電話等でお気軽にお問合せください。
電話：045-315-4089
FAX：045-315-4099
メール：info@machisen.org
横浜市中区長者町5-49-1
ラフィヌ長者町 2階

住まいまちづくり活動を担う会員
（正会員・賛助会員）募集中

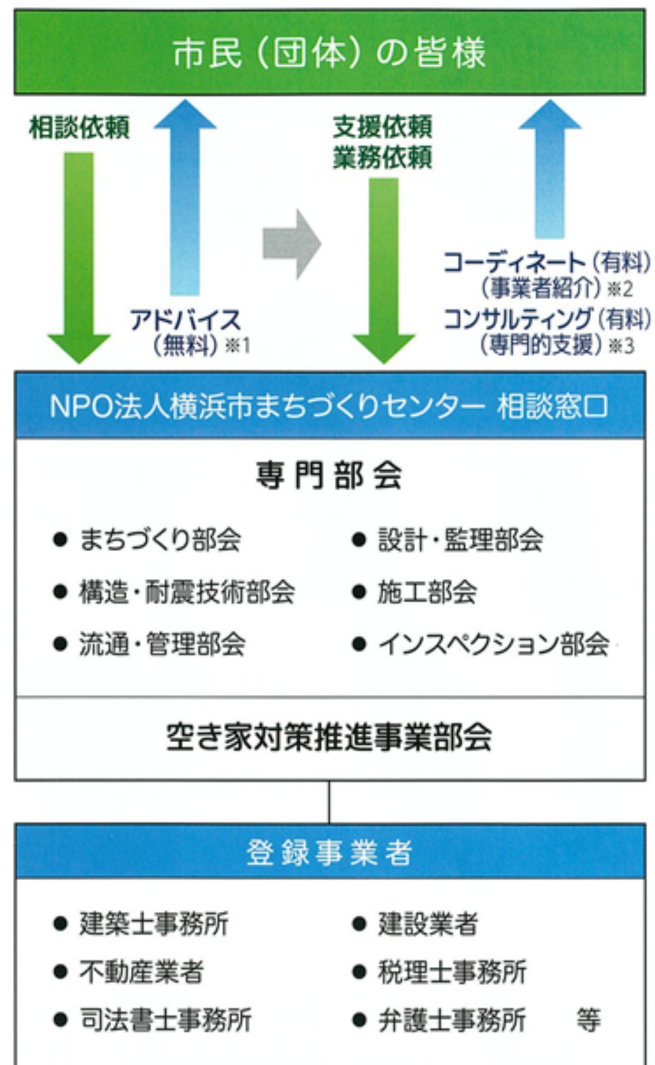
発行日 2022年4月9日
発行人 理事長 月出正弘
発行所 横浜市認証 特定非営利活動法人横浜市まちづくりセンター
〒231-0033 横浜市中区長者町5-49-1ラフィヌ長者町2階
TEL. 045-315-4089 FAX. 045-315-4099

URL <http://machisen.org/> E-mail info@machisen.org

— 広報委員会 —

担当理事 大川日出幸 委員長 月出照望
広報紙委員 丸山考樹 小倉宏志 安富泰輔 山村修生 王子和臣
廿日出頼秀 高橋亜里沙 星野広行 高橋祐矢

お気軽にご相談ください
相談・支援（紹介）
対応の流れ



※1 アドバイスは電話、FAX、メール、面談にて行います。

※2 アドバイス後ご依頼により、専門部会登録事業者をご紹介します。

※3 継続的に専門的な助言、サポートが必要な場合は、専門家を派遣し、専門的支援業務をお引き受け致します。



NPOまちセンHP
QRコード



NPOまちセンFB
QRコード

横浜の住まいまちづくりに役立つ情報誌！

～情報誌 まちセン～

横浜市認証

特定非営利活動法人横浜市まちづくりセンター VoL. 21

横浜市親と子のつどいの広場事業について

横浜市まちづくりセンターでは神奈川区の運営者から、親と子のつどいの広場の「場所探し」について相談を受けまして、横浜市子育て支援課担当から事業について話を聞いたところ、横浜市は子育て世代への居場所支援として、「親と子のつどいの広場事業」を促進しているようです。

右記、アンケートの図を参照すると、子どもが生まれるまでに子どもの世話をした事がない人が74.4%もいます。このように子どもの世話の経験がない状況の中で、育児をするご夫婦が多く、同時に初めての育児による不安や悩みなど抱えていらっしゃる方が多いと思います。

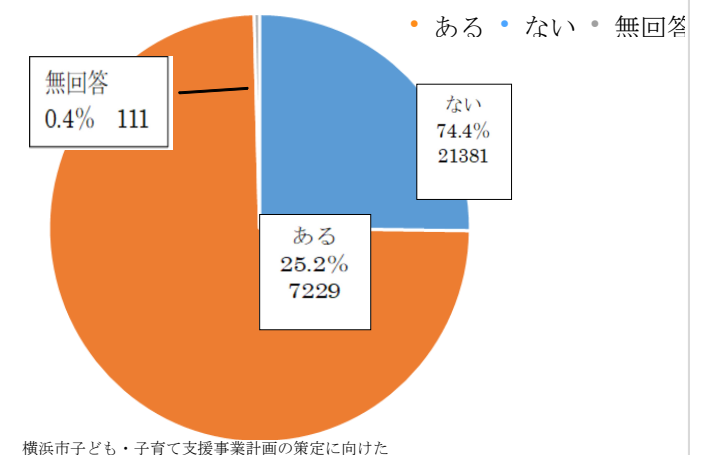
横浜市ではこうした不安を抱えた親子への子育て支援として就学前（主に0才～3才）の親子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で子育てについての日常的な支援方法や、育児に対する悩みや不安の話を語り合う場所作りを促進しており、主にNPO法人などによる市民活動団体が運営を行っております。

令和4年4月時点では67か所で実施しており、「第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画」で市内77カ所の設置を目標にしております。予め横浜市の方で募集対象地域を指定しており、新規運営団体を毎年公募し、親と子のつどいの広場運営団体選定委員会での選定を経て、新規運営団体を選定しております。

集いの場所がある事により、子育て中の親子が地域交流や団らんが出来て、地域子育て機能を高め、保護者の育児にかかる心身の負担軽減や子どもの健やかな育ちを促進することを目的として実施されています。『基本的な考え方として「親子で地域の関わり合いを生み出す場」として、親同士の支え合い、子ども同士の育み合い、地域の人たちが親子を温かく見守る関係づくりの場である事』『「あらゆる利用者が受け入れられる場」として、児童福祉法の理念である』。この2つを理念として親子だけでなく、地域の関係を含めた集いの場所であります。

運営者側として開設をご検討される際は、場所探しのお手伝いをしますので、後記相談窓口までご相談ください

子供の世話をした経験



横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた

利用ニーズ把握のための調査結果報告書（平成30年11月）参考